

神話・寓話・物語

各地域に伝わる神話や寓話、物語を題材とした切手もあります。

1969年に発行された韓国の50ウォン切手には、少女とウシが描かれていますが、これは、コンジとパッツイという物語です。ストーリーはシンデレラに酷似しており、コンジは継母とその娘であるパッツイに理不尽な扱いを受けますが、けなげに働くコンジをウシやカメなどの動物が助けます。この切手はその場面を描いたものです。

香港の2.40ドル切手は、中国、韓国、ベトナム、日本で行われている七夕^{たなばた}が図案となっています。結婚してから仕事をしなくなった織姫と彦星に怒った天帝が、天の川を隔てて離れ離れにし、仕事に励むことを条件に、七夕の夜に限り天帝が遣わしたカササギの翼にのって再会することが許されるというもので、夏の大三角形をつくる、こと座のベガが織姫、わし座のアルタイルが彦星、はくちょう座のデネブがカササギです。

中華民国（台湾）の12.00ドル切手は、木で作った農具で土地を耕し、人々に農耕と医療を教えたとされる神農を描いたものです。中国の神話時代の帝王である炎帝と同一視されており、体は人間だが頭は牛の姿であったと伝えられているため、頭にスイギュウの角が描かれています。

デンマークの小型シートに描かれているのは、北欧神話に登場する女神ゲフィオンの話です。スウェーデン最古の王とされるギェルヴィ王から「4頭のウシが一昼夜で耕した土地を与える」と持ち掛けられたゲフィオンは、巨人との間にもうけた4人の息子をウシに変え、大量の土砂を海に運びます。そうして作られた島がデンマークの首都コペンハーゲンがあるシェラン島で、鋤きとられた場所がスウェーデンのメーラレン湖になったといわれています。デンマークで非常に信仰された女神の切手です。